

短期予報解説資料 2017年11月21日15時40分発表

気象庁 予報部

1. 実況上の着目点

①500hPa5400～5700m 付近のトラフが日本の東にあって東北東進。トラフ前面に前線を伴う低気圧があって北東に進んでいる。朝鮮半島付近に中心を持つ高気圧に覆われ、近畿・北陸・北日本を除いて晴れている所が多い。

②先島諸島周辺には高気圧の南縁を回る下層暖湿気が流入し、発達した対流雲が散在。海上を中心に20mm/h 台の強い雨を解析。

2. 主要じょう乱の予想根拠と解説上の留意点

①22 日朝には高気圧が日本の東へ抜け、高気圧の縁辺を回る下層暖湿気が流入しやすい気圧配置となる。22 日朝には東シナ海で500hPa5700～5760m 付近の強風帯に対応した低気圧が発生。その後、東北東進し、23 日朝には伊豆諸島南部付近へ進む見込み。低気圧や前線に向かって850hPa の相当温位 327K 以上の下層暖湿気が流入するため、低気圧が接近・通過する沖縄・奄美地方では22 日未明から夕方にかけて大気の状態が不安定となる。落雷や突風、短時間強雨に注意。22 日昼前から西日本・東日本の太平洋側でも下層暖湿気の流入が次第に強まり、大気の状態が不安定となる見込み。西日本太平洋側では22 日昼前から23 日未明にかけて、東日本太平洋側では22 日夜から23 日はじめにかけて、落雷や突風、短時間強雨に注意。

②22 日昼前から23 日はじめにかけて、北日本日本海側を中心に下層暖湿気の流入が強まり、大気の状態が不安定となる。22 日夜には500hPa 5220～5400m 付近のトラフが日本海へ進む。トラフの接近に伴い、22 日夜には日本海で低気圧が発生する見込み。この低気圧は23 日朝にはサハリン付近へ進み、低気圧からのびる寒冷前線が22 日夜から23 日前半にかけて、西日本から北日本を通過する。低気圧や前線の近傍では大気の状態が不安定となる。22 日昼前から23 日はじめにかけて、西日本から北日本では落雷や突風、短時間強雨に注意。2 項①・②の低気圧の影響で広い範囲で気圧の傾きが大きくなる見込み。北日本では22 日未明から、東日本では22 日夜から、強風や高波に注意。2 項①・②の低気圧通過後は、西日本から次第に西高東低の気圧配置となり、下層寒気移流が強まる見込み。南西諸島では22 日後半から、西日本では22 日夜から強風や高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点

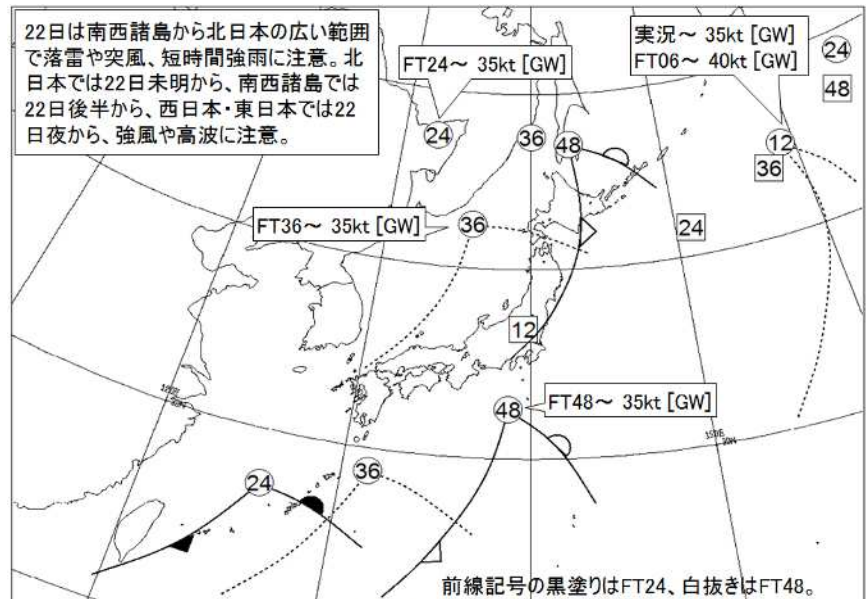
総観場は最新 GSM を基本とする。雨の分布・強度、風の予想は MSM も参考にする。

4. 防災関連事項 [量的予報と根拠]

①大雨・大雪ポテンシャル(18 時からの24 時間):[雨]奄美 120mm。その他、2 項の短時間強雨に注意。[雪]高い所(注意報級以上)はない。②波浪(明日まで): 沖縄・奄美・北陸・東北・北海道 3m。

5. 全般気象情報発表の有無

発表予定なし。



主要じょう乱解説図